

トイポスト



No. 145

発行日：2022年3月18日 発行者：認定特定非営利活動法人おもちゃの図書館全国連絡会 〒116-0014 東京都荒川区東日暮里2-25-11
電話 03-6807-8813 Fax 03-6807-8863 E-mail:renrakukai@toylib-jpn.org HP:http://www.toylib-jpn.org/

全国のおもちゃ図書館の皆さまへ

全国のおもちゃ図書館関係者の皆様、いかがお過ごしですか。新型コロナウイルスも、いろいろと出てきて、大きな波が出現してきています。この歴史に残るパンデミックをうまく乗り越えられるよう知恵を出し合い正しい情報で備えていきましょう。そんな中でも、うれしい寄付やおもちゃの再発見のニュースが飛び込んできています。

世界各地のおもちゃ図書館活動も、困難な状況にあります。そんな中、オンライン会議で行き来出来なくても対面でなくても顔を見ながら話し合うことができました。南アフリカの代表からの発信で、時差があっても主要メンバーで情報交換し、ゲームさえ楽しむことができました。木育教育に力を入れている台湾と「木製玩具の重要性」についての講話と質疑応答を無事実施することもできました。台湾全土から木製玩具コンクールに多数の応募があり、活発な活動が展開されています。マレーシアにも新しいおもちゃ図書館が誕生してきています。

5月28日のワールドプレイデーや2023年3月のオーストラリアはメルボルンでの国際会議も開催できることを願っています。日本でも、皆で集まり有意義な話し合いが一日でも早く開催できる日がきますように。



認定特定非営利活動法人
おもちゃの図書館全国連絡会
副理事長 高村 豊

一般財団法人日本おもちゃ図書館財団の「山科直治記念 文化・スポーツ・レジャー活動支援助成事業」は、おもちゃ図書館の運営充実と活性化をはかるとともに、子どもの遊びが潤いのある豊かなものになることを目的として実施されています。対象は、おもちゃの図書館全国連絡会の会員、対象事業は①文化活動（観劇、各種教室（料理・音楽・お絵描き等）コンサート等）②スポーツ活動（スポーツ、ダンス、体操、乗馬体験等）③レジャー活動（お楽しみ会、クリスマス会、遠足、旅行等）となっています。令和3年度は、10館が助成を受けました。

☆☆ドライブインシアターin ふれあい館

熊本県合志市 おもちゃ図書館ちゃちゃちゃ

コロナ禍で様々なイベントが中止される中、車に乗ったまま映画が鑑賞できる『ドライブインシアター』は3密にならず実施できるものです。12月18日（土）参加者は駐車場に車を止めて、FMラジオの周波数を合わせ、陽が落ちるのを待ちました。空が暗くなると合志市社会福祉協議会の建物壁面がスクリーンになり映像が映し出されました。

障がいをもっていたり、小さな子どもがいる家族にとって、コロナで思うように外出や映画館等に行けない中「車の中なので他の人を気にすることなく、また迷惑をかけることなく親子で楽しめました。」「迫力ある映像、音声に子どもたちはワクワクしながら観ることができました」「まるで映画館にいるようでした」などの声をいただきとても好評でした。昨年から実施している事業ですが、今回はご支援をいただいたおかげで、『ミニオンズ』『ボスベイビー』の2本の映画を上映することができ、幼児から中学生、保護者、祖父母の参加をいただくことができました。本当にありがとうございました。（三嶋竹子）



☆☆親子ふれあい活動&世代間交流会

滋賀県近江八幡市 おもちゃの図書館すくすくちゃん

おもちゃの図書館すくすくちゃん開館五周年を記念し、親子ふれあい活動の中でミュージックケアとうちわ制作を行うとともに10月に「世代間交流会」を実施しました。

コロナ禍の実施となったので、親子ふれあい活動では、少人数で何回かに分けて実施することになりましたが、参加された親子は五感を刺激され、楽しい時間の共有ができ、新たな楽しみ方ができたと思っています。

世代間交流会では、参加人数を制限し、お寺の対面所をお借りして開催しました。近江八幡市特産のヨシで作ったよし笛の優しい音色は人の心を和ませ、バルーンアートでは風船がいろいろな形に大変身、わくわくとドキドキを楽しみました。最後は御坊さんのパワーポイントを使ったクイズからはじまり、煩惱についてわかりやすくお話をいただきました。多世代が一堂に集まることが少なくなった今日ですが、「久しぶりやなあ」とお互いが挨拶を交わし、和やかな交流会を実施できたことは、ご支援いただいたおかげと喜んでおります。本当にありがとうございました。（榎原かず子）



おもちゃ図書館県市社協情報交換会

2022年3月8日（火）10：30～12：00

ZOOMにてオンライン開催

おもちゃ図書館県市社協情報交換会をオンラインにて開催しました。この情報交換会は、主に県市の連絡会事務局を担っていただいている社協のご担当者と全国連絡会事務局の情報交換を目的に、平成28年度より毎年1回開催し、今回で5回目となります。

各連絡会の活動状況の報告や機関誌をご提出いただき、活動の様子を知ることができました。各地の連絡会によるおもちゃ図書館活動へのご支援があることで、より身近な繋がりや支えが得られていることを感じる事ができました。

ご参加の皆さま、ありがとうございました。

【参加社協（順不同）】

千葉県社会福祉協議会・静岡市社会福祉協議会・埼玉県社会福祉協議会・東京都社会福祉協議会・愛知県社会福祉協議会・名古屋市社会福祉協議会



千葉県おもちゃ図書館連絡会 研修会

千葉県おもちゃ図書館連絡会では、千葉県共同募金会の助成を受けて、毎年研修会を開催しています。今年度は2022年1月17日に、おもちゃの図書館全国連絡会鈴木理事長を講師にお招きし、参加した8団体に「安心しておもちゃ図書館を開くために」をテーマに、初めてオンラインでの研修会を開催しました。

千葉県内でもコロナ禍で休館を余儀なくされているおもちゃ図書館が多い中、活動を継続している他県の状況やおもちゃの消毒方法、また、鈴木理事長のおもちゃ図書館開館に対する熱い思いも聴くことができました。その結果、参加者からは「立ち止まっていたはダメだということに気づいた」「できることから始めたいと思った」等の感想をいただきました。

また、研修会終了後には、教材として購入した感染予防グッズと、当日の様子をDVDに録画したものを全会員に郵送して情報共有を図りました。

今回、新しい挑戦として研修会のオンライン開催ができたように、コロナ禍だから何もしないのではなく、できることもある、できることをやり続けることが何より大事だということに気づかせてもらった大変意義のある研修会でした。

（千葉県社会福祉協議会 千葉県おもちゃ図書館連絡会事務局 今井・河村）



当日の様子



教材の感染予防グッズと研修会の様子を録画したDVD

どうぞよろしく！新入会員の紹介

おもちゃ図書館活動は当初「障がいのある子や兄弟姉妹」も安心して地域で遊ぶことができるようにと全国各地で開設され広がってきました。活動開始から35年以上が過ぎ、これまで、時代や社会状況に合わせて様々な形のおもちゃ図書館が生まれてきました。ボランティアの高齢化やコロナでの休止が長引き閉館するおもちゃ図書館がある一方で、最近では地域の子ども食堂、また子育て中の親が中心となって運営する親子のサロンの活動など、新しいタイプのおもちゃ図書館も増えてきています。

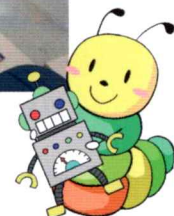
おもちゃ図書館は「みんなちがってみんないい」ですが、新入会の皆さんの思いからは今求められているニーズが伝わってきますね。

☆☆ROCOCO おもちゃサロン(NO.781) 北海道池田町

2019年の朝ドラ「なつぞら」の舞台となった北海道十勝地区の池田町にある「ボランティア・町民活動支援ルーム ROCOCO 2号店」で、本会は活動しています（毎月第1, 3金曜日に開催）。ROCOCO 2号店は、町内スーパーマーケットの2階に整備されており、住民が主体となって、パラリンピック競技であるポッチャ、ふまねっと健康教室等、様々な介護予防活動が開催されています。本会は平成30年から活動を行っている「池田おもちゃ病院」のメンバーで運営をしているので、おもちゃが壊れてしまってもすぐに治療できるのが魅力です。安心して遊んでもらえると嬉しいです！今後は、子ども達や保護者の皆さんはもちろん、おもちゃを手作りするのが好きな方、イベントの企画が得意な方など、皆で力を合わせることで、誰もがふらっと立ち寄り、安心して笑顔で過ごすことができる地域に根付いたおもちゃ図書館になっていけばと思っています。（吉田直人）



池田町社会福祉協議会
キャラクター □□□



☆☆おもちゃ図書館「泉北じゃがいも広場」(NO.782) 大阪府堺市

泉北じゃがいも広場は、地域の子ども達に、野菜の収穫を通して自然の恵みや生きる喜びを感じてもらえたらと活動を始めました。「じゃがいも」は、大小・形・色さまざまなものがあります。その繋がって育つ様子や、大人も子どもも口にしたことのある親しみやすい野菜から名前を採りました。そして、おもちゃ図書館の活動を知り、2020年に仲間入りしました。月に2~3回の開館と、長期休みにはマイバックのワークショップや、おもちゃ子ども服の「リサイクルくる」を開催しています。

旬の時期には、じゃがいもやさつまいも掘りなど外での活動も合わせて募集しています。コロナ禍の今は、おうちのおもちゃ以外でおうち時間を楽しんでもらえたらと、貸出の活動を中心にしています。行事の中では保護者の交流も始まり、里親家庭の親子も遊びに来てくれ、ボランティア一同、子どもたちの成長を共に喜びながら見守っています。今後は、利用してくれていた子どもたちの成長に合わせ、学習支援活動も視野に入れ、みんなの「ホッとステーション」を目指していきます。（角南なつみ）



☆☆にこにこ☆おもちゃ図書館(N0.783) 奈良県田原本町

2019年2月より、田原本にこにこ食堂という地域食堂をスタートさせて以来、様々なご家庭との繋がりが出来ました。その中で、食事の支援と共に、親子の居場所支援の必要性を強く感じ、2021年にこにこ☆おもちゃ図書館の活動を始めさせて頂きました。当初は、親子が楽しく賑やかに、安心して過ごせる空間を目指しておりましたが、ご存知の通り長引くコロナ禍の為に、なかなか開催することが出来ませんでした。その様な中ですので、現在は田原本にこにこ食堂のお弁当配食の際におもちゃ、絵本の貸し出しを行っております。コロナ禍が終息して、親子でワイワイ楽しめる日を楽しみに頑張りたいと思います。(岡本道典)



☆☆市川大野おもちゃ図書館ともとも(N0.784) 千葉県市川市

はじめまして『市川大野おもちゃ図書館ともとも』です。「おとなも子どもも、お年寄りも… 障害のある子もない子も…ご近所さんのひとりひとりが、やわらかな心で過ごせたなら、きっとハッピー」そんな願いをこめながら、2019年10月より『市川大野おもちゃ図書館ともとも』は、はじまりました。

その後、『もりもり食堂』(こども食堂)『おくおくひろば』(0,1,2才親子の集い)『てとてと』(障害児親子のための集い)をスタート。

おもちゃがある傍らで、駄菓子を頬張ったり、手芸やアート表現活動が楽しめたり、ただただ漫画を読めたり…と、『ともとも』は、地域の子どもたちをはじめ、多世代にわたる誰でもが、暮らしのひとときをを共にできる程よいカオスな居場所です。ご縁あって出逢えた誰かの『~だったらいいのになあ』…そんなささやかなつぶやきを紡ぎ、活動に取り入れながら、じんわりとご近所地域に根付いて行けたらと思っています。(久保下彩)



☆☆ほっぺっぺおもちゃ図書館(N0.785) 埼玉県さいたま市

2018年4月、さいたま市に「子ども家庭総合センターあいぱれっと」ができました。ある日、その職員さんが、車イスの障害児が『利用できる場所がない』と帰ったのを目の当たりにし、市内の障害児者も対象の「浦和トライブラリーおもちゃ箱」を見学。そして、2019年さいたま市の保健センターが実施する育児相談(会場:あいぱれっと)や2020年「あいぱれっと」の主催事業「ほっぺっぺひろば」も「おもちゃ箱」が協力。それを引き継ぐ形で、2021年4月、さいたま市内のおもちゃ図書館3館が連携して「ほっぺっぺおもちゃ図書館」を立ち上げました。コロナ禍、月1回午前・午後各10組の事前予約制ですが、毎回ほぼ定員になり、参加したママからは、『ボランティアさんが一緒に遊んでくれて助かる』『見たことがないおもちゃが沢山あって楽しい』など好評です。今後とも、それぞれにメリットがある良い関係を築きながら活動を続けたいと思います。(柚口千佳)



おもちゃがどんどん進化していて、構造が複雑になり種類も多くなってきていると思います。でも、子ども達が好む主流のおもちゃは、今も昔もシンプルで分かりやすいおもちゃです。遊ばなくなるおもちゃは、障害があってもなくても大きくは変わりありません。

「共遊玩具」と呼ばれる「目や耳の不自由な子どもたちでもいっしょに楽しめるおもちゃ」はカタログが届いていますし、障害のあるお子さんにとって触り心地のよい木や布（フェルト等）のおもちゃを作るグループもありますので参考にしてください。

おもちゃは、自分で触って動かしてみても初めて楽しめるものが多いのに、手足の不自由なお子さんは自分の力で遊ぶことが難しく、ただ見ているだけで受け身になってしまうことが多くあります。そこで、支援学校の先生や療育にかかわる方、ご家族の方などが、手足が不自由なお子さんでも0歳からいっしょに遊べるように工夫をされてきています。自分で取り組む場合は、はんだ付け等が必要になりますが、依頼したり購入したりできるところもありますので、ご紹介します。

1. 改造してスイッチの活用—自分で動いたり操作できたりする喜びは大きいです。写真のような電動乗用玩具は改造したりスイッチを準備したりすることが必要になりますが、障害の重いお子さんが自分の力で探索し、行きたいところに行ける喜びは特に大きいのです。

*おもちゃではなく、幼児から移動できるようにする専用の移動支援機器は **BabyLoco**、**SmileLoco** 等になります。



市販のおもちゃでも、改造して障害のあるお子さんが自分で操作できるようになるおもちゃはたくさんあります。（右写真は改造したクレーンゲームと自作のスイッチ。ガチャガチャの中に子供の好きな物をいれるといいですね。）



2. BD アダプターとスイッチの活用—電池で動くおもちゃの電池ボックスに差し込んでジャックにスイッチのプラグを差し込みます。本体のスイッチを ON にしておくと、お子さんの得意なスイッチでおもちゃを動かすことができます。

*BD アダプター（右絵）やスイッチ(キット・完成品)の相談先や入手先：
エスコアール、国分寺おもちゃ病院、山ねこ工作室、おもちゃ図書館「おおきなき」、テクノツール、パシフィックサプライ等



3. MaBeee とスマホやタブレットの活用—MaBeee（右写真、約3,000円）

は単4電池を入れれば電波を出す単3電池に変身し、おもちゃを無料のアプリでスマホやタブレットから動かすことができます。タッチだけでなく、声や傾けたり振ったりすることで動かせるので、障害のあるお子さんの遊び方の幅を広げてくれます。



☆BD アダプターを試されたい場合は、お試し用1つお送りしますので、下記アドレスまでお問合せください おもちゃ図書館「おおきなき」 taiju06wa01@b07.itscom.net

※相澤さんには、TOYらいぶらりあん養成講座にて講師をしていただきました。（事務局）

～おもちゃ図書館で遊び育った子どもたち/利用者の声～



常陸太田市おもちゃ図書館「あ・そ・ぼ」(茨城県) 利用者 Aさん

*いつ頃利用していましたか？

1番目の子は10年～12年位前、2番目の子は3年～7年位前です。

*現在はどのようにしていますか？

1番目の子は、高等部を卒業して送迎がある施設に元気に楽しく通っています。

2番目の子は、小学生になりました。

*おもちゃ図書館の思い出は？

1番目の子の時は、おばあちゃんと一緒に行って楽しく遊んだのを覚えています。2番目の子の時は、赤ちゃんだったので、パパも一緒に行きました。一度、勉強会にも参加しました。子ども達は、おもちゃで遊ぶのが楽しかったようです。おもちゃを借りて帰れたのも良かったです。

*おもちゃ図書館ボランティアに伝えたいことがありますか？

おもちゃ図書館に行くと、ボランティアさんが子どもと遊んでくれたので、親としてはほっとして過ごすことができて良かったです。

おもちゃ図書館を始めてから10年以上経ちますが、利用者さんの感想やその後おもちゃ図書館を利用していた当時の話を聞くということにはなかったので、思い切って思いあたる方にお話を聞かせていただきました。返ってきた言葉に私達ボランティアもほっとしました。私達ボランティアがおもちゃ図書館に関わることで幸せを感じられたのは、愛らしいお子さんからですが、利用者さん達がほっとできる場であったからということもあるんだろうなあ、という気がしました。苦労もありますが、これからの活動の励みになりました。(栗原あき子)



感謝状を贈呈いたしました

(写真上) 2月16日、墨田区本所にある石川玩具(株)様の本社にお伺いしました。これは長年おもちゃ図書館活動にご協力いただいたことに対し、感謝状をお届けするためです。小泉副理事長から、中村幸一社長と高木厚司取締役へ感謝状をお渡しし、感謝の気持ちをお伝えいたしました。

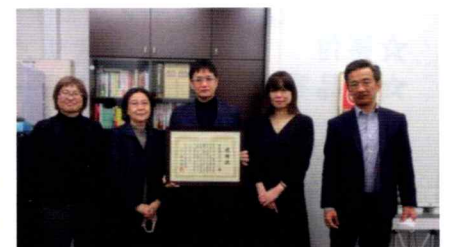
石川玩具様には、全国連絡会がおもちゃ図書館に送るおもちゃの購入で長年お世話になったほか、東京おもちゃショーの開催時などにたくさんのおもちゃを寄贈していただきました。本当にありがとうございました。感謝状の贈呈後、今年6月の東京おもちゃショーのお話や、先代社長さんが日本おもちゃ図書館財団の副理事長を務めていたころの話もでて、とても楽しい贈呈式となりました。

(写真下) 2月25日、港区虎ノ門にある(株)アックス・メアリー様の本社にお伺いしました。アックス・メアリー様から昨年12月に、おもちゃの図書館全国連絡会に多大なご寄付をいただいたため、お礼にお伺いしたものです。小泉康代副理事長から感謝状を佐藤靖代表取締役に贈呈、スタッフの方、仲介をいただいた税理士の増保雪絵さんとともに、写真撮影を行いました。

アックス・メアリー様からは毎年ご寄付をいただいております。いただいたご寄付は、新しくつくられたおもちゃ図書館に贈るおもちゃの購入などにあてたいと思います。ありがとうございました。



中央・中村社長 右・高木取締役



中央・佐藤社長 左・増保様

インフォメーション

☆2022年度 認定特定非営利活動法人おもちゃの図書館全国連絡会総会

■日程：2022年6月17日（金） 13：30～15：00

■会場：アクロスあらかわ（東京都荒川区）

☆一般財団法人日本おもちゃ図書館財団助成事業 募集中

☆2022年度 おもちゃセットの助成事業

締切：2022年5月20日

1) 既設のおもちゃ図書館対象：おもちゃセット

2) 新設のおもちゃ図書館対象：おもちゃセットと備品購入資金

☆山科直治記念「文化・スポーツ・レジャー活動支援事業」 締切：2022年5月20日

*詳細は一般財団法人日本おもちゃ図書館財団・おもちゃの図書館全国連絡会のHPにてご確認ください。

2022年6月17日（金）

9:45～11:50

全国ネットワーク会議

12:00～12:30

永年活動表彰

【おもちゃ図書館に関するご相談について】

おもちゃ図書館に関するご相談、お問い合わせ等は事務局にて随時承っております。おもちゃ図書館に遊びに行きたい、ボランティアをしたい、助成金、新規立ち上げ、研修・などなんでもどうぞ！

火～金 10：00～16：30

TEL: 03-6807-8813

E-mail: renrakukai@toylib-jpn.org



☆GWの休業について☆

4月29日（金）～5月9日（月）

お急ぎのご用件のある方は
メールにてご連絡ください。



新入会員のご紹介

«NO.792»子ども図書館&おもちゃライブラリー千葉美浜（千葉県千葉市）

«NO.793»おもちゃ図書館にここ（佐賀県みやき町）

～ありがとうございます～

各種ご支援をいただきました。（順不同・敬称略）

☆賛助会費

荒川区リサイクル事業協同組合（株）大久保（株）東工務店
藤田満幸 藤田陽菜子 武田美和子 鈴木憲 西峯行雄 奥村周市
おもちゃ図書館ひつじぐも 千葉礼子 宇井邦夫 佐伯万里子
神崎真理子 山田美和子 呉本庄つくし園 照井孝子 山本文子
丸谷一郎 新居浜市おもちゃ図書館きしゃポッポ 三浦鯉登
猪狩廣美 岡原宣二 谷津三保子 川上明子 榊原かず子
伊部美智恵 西村紀美 NPO法人ひまわり（有）雷屋 安部啓子 清水基弘 後藤哲子
おもちゃ図書館ぱんぷきん 昌玲寺 今井直樹 山下和子 山田順子 高村豊 鈴木拓 片桐貞子
めだかおもちゃ図書館 NPO法人ころん NPO法人まど みんなのふくろうおもちゃ図書館
NPO法人陽向ぼっこ 岸節子 中嶋武子 いいじまおもちゃ図書館（株）メガハウス 津田博
おもちゃ図書館「ぽん太」 清水和良 おもちゃの図書館あるむトイクラブ 見城真由美 乾佐知子
川田正美 園山裕子 恵美須文枝（株）グローバルパートナーズ・コンサルティング 今井昌子
マリ・クリスティーナ 渡辺昌行 ますだおもちゃの図書館（社福）岐阜羽島ボランティア協会
子育て支援ボランティアコアラの会 おたがいさまサロン

☆寄付（株）オニキスリアルエステート マニュアルライフ生命保険（株） 藤田満幸

☆物品寄付（株）ビスモーゲン ピジョン（株） グラパッドジャパン

«ご支援のお願い»

当連絡会は、子どもたちの様々なニーズに応え、地域福祉の要となる各地域の「おもちゃ図書館」を応援しています。ぜひ皆さまからのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

【賛助会費・寄付の口座】

三井住友銀行 町屋支店
口座番号 普通7013930
（口座名）
特定非営利活動法人
おもちゃの図書館全国連絡会

<編集後記>

今年も春の便りが南から順番に聞かれる季節がやってきました。このトイポストからも各地の活動の様子を生き生きと感じて貰えたら嬉しいです。参考になる工夫もたくさんありそうです。「記事について詳しく聞きたい!」「うちにもステキな卒業生いますよ!」などありましたらぜひご連絡ください。また現在、様々な企業や団体からの助成や寄贈をお届けする、募集のお知らせもあります。これまでためらっていた方も思いきって新しいこと、申し込んでみませんか? (岸) (編集委員: 安達・岸・篠原・園山・藤井)